

年

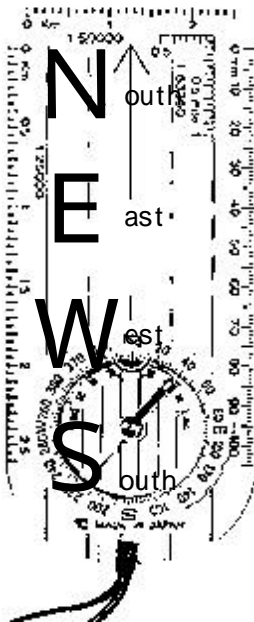
今年亥年、日本のオリエンティアに最も身近な動物です。競技中に見かけることはめったにありませんが、「のたば」というものをみたことのあるオリエンティアは多いのではと思われます。

いのししは広葉樹の林に住み、コケ・芋などの植物からねずみ、蛇も食べる雑食性。昼はひっそりと隠れていて、夜になると食物を探しに行動する。山すそのオープンがなにか道具できっかき回したようなところを見たことがあると思いますが、これはいのししがミズを取りに来た証拠です。あのとがった鼻で固い土を掘り返します。その夜行性のために我々は猪と遭遇しにひっかけです。



「ぬたば」か「のたば」か

人を襲うのか



今年11月18日和歌山県でみかん畑に潜んでいた猪に襲われた重傷を負うという事故があった。オスの下あごの犬歯はかなり鋭く、強力な武器になる。

牡丹鍋

いのししの肉はあぶらこなくておいしい。味噌仕立てで食べると臭みも気にならない

愛知にも熊目撃情報

愛知県でも熊目撃情報が新聞で報道されています。特に豊田市で多く、PCのある旭地区やWOCトレーニングコースになった下山地区での目撃があるそうで、トレーニングは避けることをお勧めします。

友ヶ島で鹿が増殖

和歌山市に近い友ヶ島ではそこに放ったイワンジカが増殖し、下草を平らげてしまったと新聞報道されていました。さぞかし、走りやすくなったのでは…。しかしこのオリエンターリングパーマネントコースはすでに廃止されています。



いのししの生活の痕跡

オリエンティアなら、よく山中で見ることがある「のたば」「ぬたば」は猪が体に付いたダニを落とすため、湿地で泥を体に塗りつけている猪にとっては大事な場所です。

O- 談注意

オリエンターリング起爆剤になれば。

江戸初期、若者に忠誠心の重要性を説いた、旗本大久保彦左衛門の先祖は家康の三河時代からの家臣。映画でもおなじみの人物です。そんな彼の気持ちになって、「オリエンターリング」ちょっとここがおかしいではないの??? というところを書いてみたいので、次号からの反応をお待ちしています。

最近、岡崎市の広報担当との話の中で我々が言った試走という言葉について、「参加者がレース前に走る」と思っていたとか。確かにこれが一般常識、です

(三河屋森平)